

## 要 旨

試験委託者

環境庁

表 題*m*-アミノフェノールのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験試験番号

91539

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドラインNo.203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： *m*-アミノフェノール
- 2) 供試生物： ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 3) 生物数： 10尾／1試験区
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 暴露方式： 半止水式(48時間毎に換水)
- 6) 試験濃度： 300, 200, 133, 88.9, 59.3 mg/L(濃度公比：1.5)及び対照区
- 7) 連 数： 1試験区につき2連
- 8) 試験液量： 2.5 L／1容器×2容器／1試験区
- 9) 水 温： 24±1℃
- 10) 照 明： 16時間明／8時間暗
- 11) エアレーション： なし
- 12) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)  
(開始時、換水前)

結 果

- 1) 96時間の半数致死濃度(LC50)=121 mg/L(95%信頼区間：88.9～200 mg/L)
- 2) 0%死亡最高濃度=88.9 mg/L
- 3) 100%死亡最低濃度=200 mg/L  
(上記濃度は、全て設定値に基づく値)